

第55回名古屋市区政協力委員大会中川区要望事項（案）

1 交通安全対策の推進

幹線道路を多く有する中川区においては、渋滞を避け生活道路に入り込む車両も多く、特に朝夕は通学路における事故の発生は当然に危惧される場所である。については、朝夕の通学時間帯を中心に、生活道路への車両の進入の制限や速度の制限、一時停止箇所の設置、取り締まりの実施及び強化と、子どもたちが安全に登下校できるように、交通標識等の設置、路肩カラー舗装、さらに事故の発生が懸念される箇所への歩行者信号や横断歩道の設置など、事故の発生を未然に防ぐための交通安全対策を要望する。

2 指定緊急避難場所及び指定避難所の充実等について

災害時においては、いかに適切かつ速やかに避難をすることができるかが、人命を守るために大変重要で、指定緊急避難場所の果たす役割は、避難生活を送る指定避難所とともに非常に大きい。については、地域の災害リスクを踏まえ、高齢者や子どもの避難についても考慮した、指定緊急避難場所、指定避難所の整備と、地域によっては、防災機能を備えた公園や防災広場、避難タワーなどの避難施設の整備を要望する。併せて、指定避難場所等に備える電源や連絡手段の確保、簡易トイレを始めとした備品をより使いやすいものに更新することで、指定避難所の機能充実に努めることを要望する。

3 公園のごみのポイ捨て対策について

公園の整備によって魅力が増し利用者が増えているが、それに比例して、ペットボトルや空き缶、菓子類の袋などのプラごみのポイ捨ても増えている。せっかく魅力的、機能的な公園を整備しても、ごみが散乱している状態では、利用者や近隣住民に不快感を与え、魅力度が低下する。ごみは利用者が持ち帰るという原則は理解するが、この状態ではポイ捨て対策として再び公園にごみ箱を設置する以外に方法はないという意見も出ている。利用者のマナー向上への取り組みはもちろん、効果的なごみのポイ捨て対策を講ずることを要望する。

4 不法投棄対策について

名古屋市では、市民の積極的な参加のもとに美化・緑化・ごみ減量意識の普及啓発活動を展開しているが、公園や河川敷、道路へのごみの不法投棄が後を絶たない現状がある。不法投棄の有効な対策の一つとして防犯カメラの設置があるが、現在の防犯カメラの設置補助金は、ごみの不法投棄対策のために設置する防犯カメラには利用できない。については、市施設管理者による防犯カメラの設置などの対策を望むとともに、不法投棄や資源の持ち去りへの対策に使えるように現在の防犯カメラの設置補助金の拡充または新たな事業を要望する。

5 中川運河の活用・整備について

中川区がより魅力ある街として発展するためには、市内最大の運河である中川運河の活用・整備はとても重要と考える。そこで、名古屋市は運河の管理者である名古屋港管理組合と連携し、水辺空間に親しむことができる遊歩道の整備や、未活用の土地に商業施設を始めとした魅力施設の積極的な誘致を進めることによって、市民が集い楽しめる、憩いの空間として中川運河を整備することを要望する。

《申し合わせ事項》

地域と行政が一体となって、区民が楽しむことができる区民まつりなどの行事を開催するとともに、防火・防災・防犯・交通安全・青少年の健全育成・町を美しくする運動等を、より安心・安全で快適なまちの実現に向けて積極的に推進する。特に災害時における地域と行政の協力体制については、一層の強化を図る。また、ホームページの作成など、地域の実情を踏まえたICTの活用やICTを活用できる人材の育成も一体となって進め、幅広い世代の参加によって「安心・安全きれいな、みんなにやさしい、魅力あふれるまち“中川区”」の実現にまい進しよう。